

# 外傷を契機に発見された 巨大腓体尾部腫瘍の一例

研修医2年 Y.H

**【症例】** 10代 女性

**【主訴】** 腹痛

**【現病歴】**

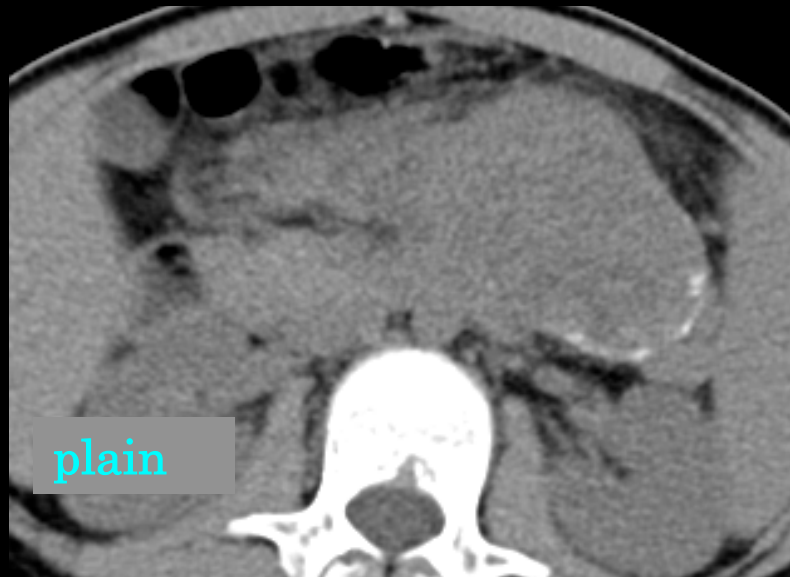
X年Y月, 下腹部を受傷し、その後より下腹部痛が出現し近医受診。腹部エコー上, 骨盤内に少量の出血を認め, 腹部造影CTを施行したところ腓体尾部に巨大な腫瘍が発見された。精査加療目的に紹介受診となった。

**【既往歴】** MCLS(5歳)

**【家族歴】** 特記事項なし

**【血液検査所見】** Hb 10.9 g/dl

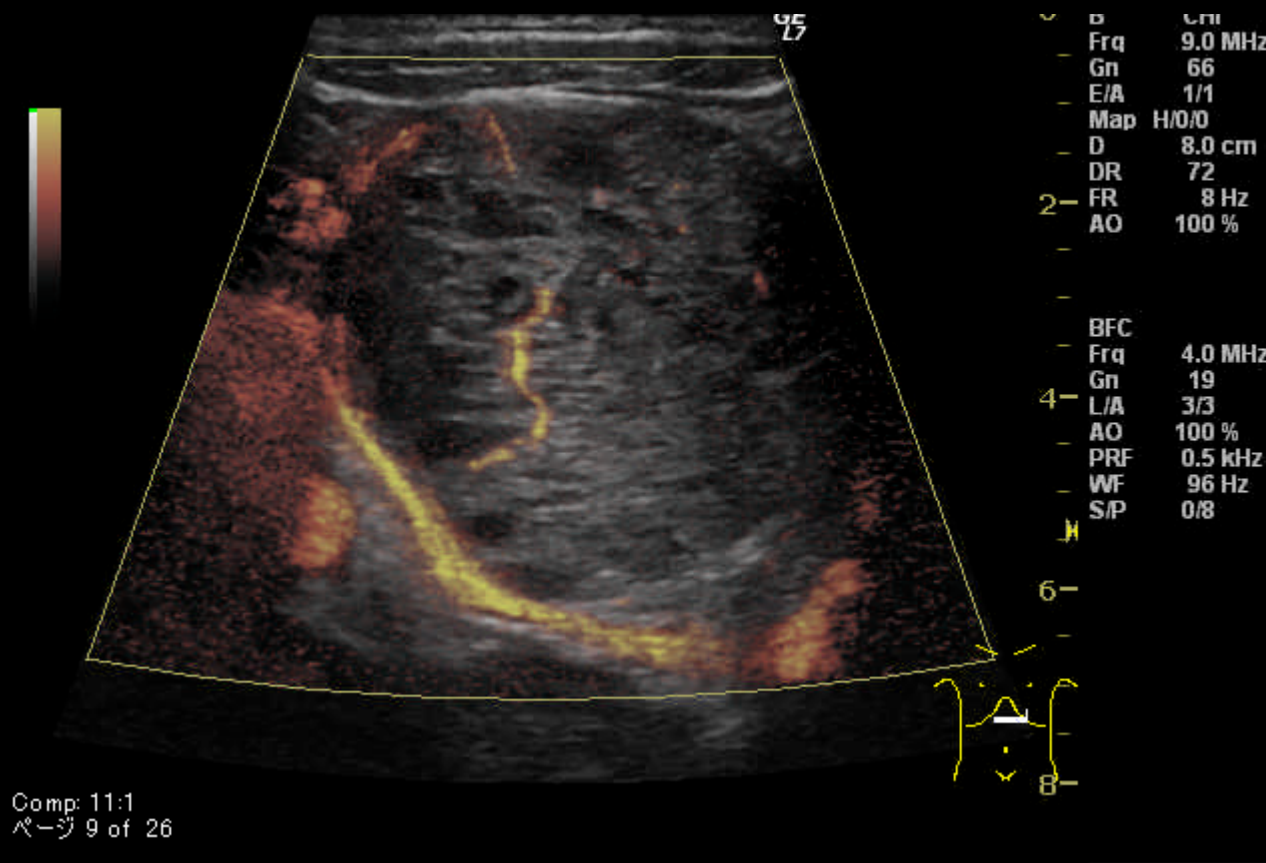
# 膵Dynamic CT



- ・膵体尾部に長径80mm大の境界明瞭な腫瘤を認める.
- ・単純CTでは,病変は不均一な低濃度を示し,辺縁に一部石灰化を伴う.
- ・造影CTでは,腫瘤内の一部は漸増性に濃染され,充実部分と考えられる.

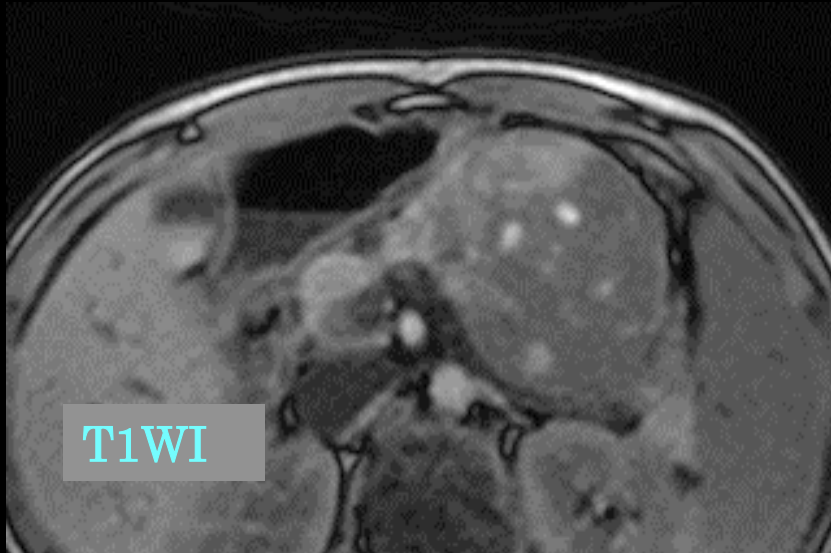


# 腹部超音波

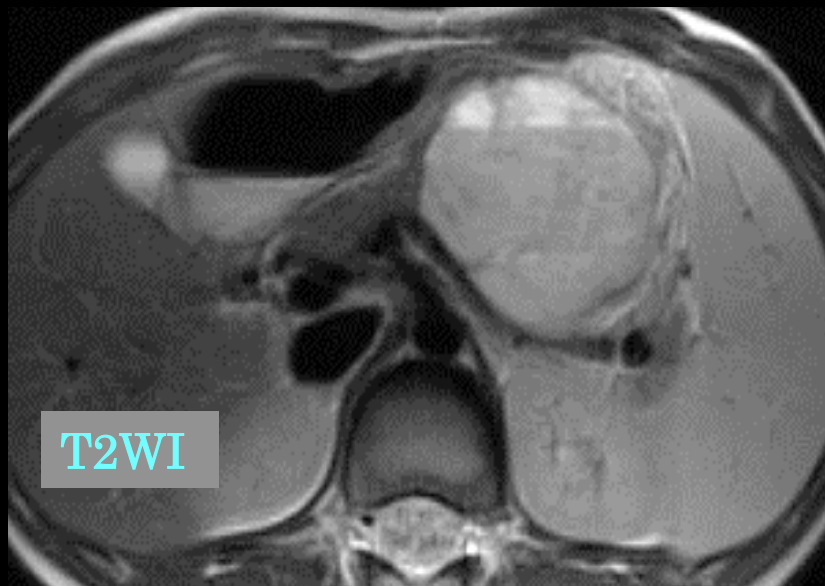


膵尾部に多発性の小さな嚢胞性部分を伴う腫瘍性病変。  
B flowで腫瘍内部に中等度の血流を認める。

# 腹部MRI



- ・腫瘍はT2WIで不均一な高信号.
- ・腫瘍内にT1WIで小さな高信号域を認め、出血の混在が示唆される.
- ・骨盤内に血性腹水を認める.



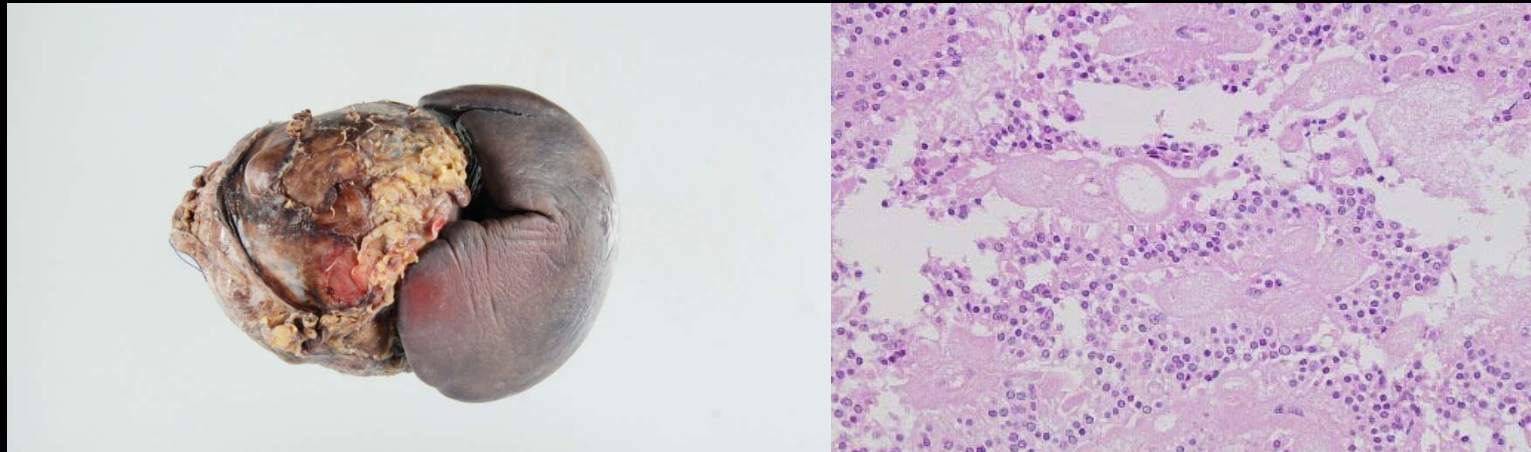
## 画像所見のまとめ

- 膵体尾部に長径80mm大の境界明瞭な膵原発腫瘤を認める.
- 単純CTで、病変は不均一な低濃度を示し、辺縁に一部石灰化を伴う。造影CTでは、腫瘤内に漸増性に濃染される充実性部分を認める.
- T1WIで小さな高信号域を呈する出血性嚢胞成分の混在を認める.
- 骨盤内に血性腹水を認める.

# 診斷

*Solid pseudopapillary tumor*

腺充實性偽乳頭狀腫瘤



# *Solid pseudopapillary tumor (SPT)*

## 一般事項

- 過去の名称がいろいろあるが
  - solid and cystic tumor, solid and papillary (epithelial) neoplasm, papillary-cystic neoplasm, ...
- 現在は solid pseudopapillary tumor に統一
- 膵腺房細胞由来と考えられている
- 20～30代の若年女性 (とくに東洋人・黒人) に多いとされるが, 10%程度は男性にも発生, 高齢者の報告もあり
  - 国内報告302例のまとめでは, 男性40例(13.2%)



# *Solid pseudopapillary tumor (SPT)*

## 一般事項

- 本来は充実性腫瘍だが，経過と共に出血・壊死・石灰化などの退行性変化が起こる
  - ・ 嚢胞成分と充実成分との混在が特徴的
  - ・ 壁に石灰化を呈することもある
- 大部分は良性だが，転移・再発の報告もある  
(solid pseudopapillary carcinoma: SPC)
- 症状：腹部腫瘍など，偶発的要素が強い
- 治療：手術が基本，完全摘出で根治が期待

# *Solid pseudopapillary tumor (SPT)*

## 画像所見

- 膵実質から突出する大きな腫瘤
- 被膜を有し, 充実成分と嚢胞成分からなる
- 嚢胞成分は出血・壊死による
- 壁にはしばしば石灰化(30%)
- 造影CT・MRIにて充実部は漸増性に濃染
- SPCと良性SPTの鑑別
  - ・膵管拡張, 血管浸潤, 転移など
  - ・大きさ, 局在, 成分, 石灰化には有意差なし

# *Solid pseudopapillary tumor (SPT)*

## 鑑別疾患

- 嚢胞成分が主体
  - ・ 仮性嚢胞
  - ・ 粘液性嚢胞性腫瘍 (MCN)
  - ・ Neuroendocrine tumor
- 充実成分が主体
  - ・ 腺房細胞癌
  - ・ 内分泌腫瘍
  - ・ (小児の場合) 臍芽腫

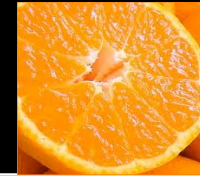
# 膵嚢胞性病変

## ～分類～

- I 仮性嚢胞（嚢胞内腔を被覆する上皮 なし）  
外傷性のpancreatic pseudocysts など
- II 真性嚢胞（嚢胞内腔を被覆する上皮 あり）
  - 1 非腫瘍性
  - 2 腫瘍性
    - 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)
    - 粘液性嚢胞腫瘍 (MCN)
    - 漿液性嚢胞腫瘍 (SCN) など
- III 二次性腫瘍（出血や壊死による嚢胞状変化）  
solid pseudopapillary tumor (SPT) など

# 膵嚢胞性疾患 ～画像診断の進め方～

# IPMN vs MCN



	IPMN	MCN
性別	男性 > 女性	ほぼ前例女性
好発年齢	壮年～高年	若年～中年
好発部位	膵頭部に多い	膵体尾部
嚢胞の形態	ぶどうの房	夏みかん
被膜	ほとんど認めない	認める
卵巣様間質	認めない	認める
膵管との交通	認める	稀に認める

# 考察

- 外傷を契機に発見された *Solid pseudopapillary tumor (SPT)* の一例を経験した.
- *SPT*は若い女性に好発する比較的稀な疾患であるが、  
中高年症例では時に肝臓やリンパ節への転移や腹膜播種を認めることがある.
- 発見した場合は手術により完全摘出し、  
*potentially malignant*な腫瘍として対処する必要がある.

# 参考文献

- \*村上康二ら, 非腫瘍性嚢胞性病変の画像診断. 画像診断 622-629 Vol.22 No.6 2002
- \*入江裕之ら, 膵嚢胞性疾患の画像診断. 画像診断 1332-1341 Vol.30 No.13 2010
- \*木村 理.IPMTとMCT. 幕内雅敏監修, 木村理編.  
膵脾外科の要点と盲点. 文光堂, 東京, 2009.
- \*諸星利男ら, 胆と膵 22: 29-35, 2001.
- \*吉岡正智ら, 胆と膵 22: 45-52, 2001
- \*木村 理. 膵嚢胞性疾患の新展開—IPMTを中心に—. 膵頭部の局所解剖と各種縮小手術. 日外会誌 104: 460-470, 2003.
- \*Lee et al. Clinical Radiology 63: 1006-1014, 2008
- \*Kimura W. Cystic tumors of the pancreas –  
Diagnosis and therapy. Yamagata Med J 18: 97-107, 2000
- \*Moriya T, Kimura W, Sakurai F, Semba S, Ozawa K, Hirai I, Fuse A. Minute  
invasive ductal carcinoma of the residual pancreas after distal  
pancreatectomy for intraductal papillary mucinous tumor. Int J  
Gastrointestinal Cancer 31: 191-197, 2002
- \*Sugiyama M, Atomi Y. Extrapancreatic neoplasms occur with unusual  
frequency in patients with intraductal papillary mucinous tumors of the  
pancreas. Am J Gastroenterol. 94:470-3, 1999
- \*Bobby Kalb, MD et al. MR imaging of Cystic Lesions of Pancreas  
ABDOMINAL IMAGING Radiographics:1749-1765, 2009